

## アジア太平洋盆栽水石高松大会

2011年10月

日本で初開催となる「アジア太平洋盆栽水石高松大会」が2011年11月18日(金)から21日(月)、四国高松のサンポート高松を中心に開催いたします。

この大会は2年に1度アジア太平洋地域で開催されており、昨年は台湾の地で開催され、その際四国高松が時期開催地として決定されました。この大会は第11回を数え、日本では初めての開催となります。

香川の盆栽生産は古く、200年余の歴史を有し、瀬戸内海のもたらす恵まれた自然と讃岐人の細やかな感性により芸術的な盆栽を育てており、錦松の父と言われた末澤喜市翁ら幾多の先人によって、今日の香川を代表する主要産業に発展してきました。

高松市は、松盆栽国内最大の生産地になっておりますが、近年の住宅環境の変化やライフスタイルの多様化などから、花物、実物、雑木盆栽に取り組む生産者も増えてきています。

しかし、盆栽生産者にとりましては、後継者の減少などの問題もあり、先人たちが築いてきた盆栽産業の未来を懸念する状況も見受けられます。

このような中、香川の盆栽産業の振興と国際文化の交流を推進する目的で、盆栽と水石が和合した大会を日本では始めてとなります第11回大会が高松において開催することが決定致しました。

ASPAC盆栽水石大会を開催する中で、各国間の盆栽芸術等に関する知識、技術、情報などの交換や交流を活発に行い、国際親善と友好を促進するとともに、人類共通の、生命ある芸術としての盆栽を、広く世界に普及し、発展に努めることを目指します。

そこで、ASPAC盆栽水石大会の開催に際しては、

### 「Friendship and Better Future(友好、そしてよりよい未来)」

をテーマに、瀬戸内海の豊かな自然を最大限に生かした内容を盛り込むほか、香川県や高松市を始め、新居浜市の「高砂庵主」の故岩崎大藏など、地元経済界など広く各界各層の協力を得て、四国地域を上げた大会にすることを目的とします。

四国高松は鬼無町・国分寺町といった日本有数の松盆栽の産地であり、私たちといったしましても国内で初めての大会ということと、日本の伝統文化である盆栽と水石を

海外の参加者に感じていただける大会となる様、また栗林公園や玉藻公園といった松盆栽に関連した公園などでも、貴重な盆栽や水石など多くの出展を予定しております。

つきましてはぜひ多くの方に、この高松大会にご参加いただきたいと思っております。国内の盆栽関係者のみならず、これだけ貴重な盆栽や水石が展示されることはめったにございませぬので、ぜひ一般の皆様にも大勢ご参加くださいますよう、心よりお願い申し上げます。

尚、お問合せにつきましては、アジア太平洋盆栽水石大会高松実行委員会事務局、Tel(087)813-1787 月曜から金曜、AM9:00～PM4:00 までにご連絡ください。

アジア太平洋盆栽水石大会高松実行委員会  
実行委員長 小西幸彦